

施策番号	1501		
施策名	地域の福祉ニーズの把握		
概要	地域福祉のさらなる推進を図るため、高齢者、障害者、児童の各福祉分野のネットワークの強化を図るとともに、福祉事務所の相談・支援機能を強化し、福祉サービスの適切な運用を進める。		
担当局・部室	保健福祉局・生活福祉部	共管局・部室	
上位政策	15 地域福祉		
施策に関する主な分野別計画等	京・地域福祉推進指針		

施策の評価

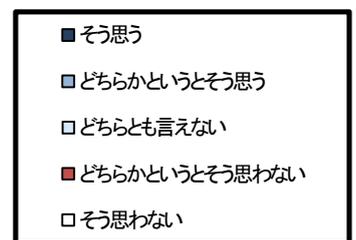
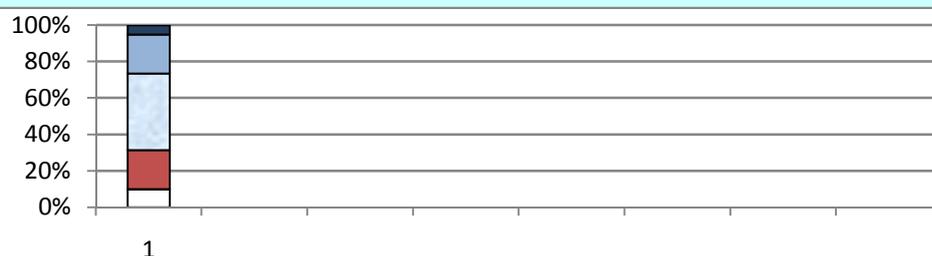
1 客観指標評価

指標名	年度	年度	23年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1 区地域福祉推進委員会の活動回数(件)	-	-	36	36	41	87.8%	c	1.00
2 福祉相談システムの利用件数(件)	-	-	1,957	3,216	2,504	128.4%	a	0.50
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
客観指標総合評価							b	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	23年度回答					有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない		
1 社会的に弱い立場にある高齢者や障害のあるひとが、地域ぐるみで見守られている。	27 5.1%	112 21.3%	221 42.1%	113 21.5%	52 9.9%	525	c
2 -							-
3 -							-
4 -							-
5 -							-
市民生活実感調査総合評価							c



3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					年度	-
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	b	<input type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 各区の地域福祉推進委員会や福祉事務所の職員等それぞれの専門性のある委員・職員の活動等を客観指標として挙げており、一般的な市民の実感より、より福祉を必要とする方を対象とする客観指標を重視する。						年度	-
(原因分析) ・各区の地域福祉推進委員会の活動が一定軌道に乗ったことから、活動件数に増減はなかった。また、福祉事務所への市民相談については、多様な福祉サービスの情報を提供できるよう相談システムの内容の充実を図り、利用が大幅に増えたことから、客観評価はb評価となった。 ・市民生活実感調査では、高齢者や障害者等への地域福祉の充実度について、どちらとも言えないという回答が4割と最も多く、c評価となったことから、地域福祉の取組に対する関心と理解を広げる必要がある。						年度	-

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞

	事業名	事業費の状況(千円)		23年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		22年度 決算額	23年度 予算額		
1	サービスアセスメント事業	1,597	1,597	かなり良い	保健福祉局
2	地域福祉推進指針事業	15,201	16,016	かなり良い	保健福祉局
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

- ・各区地域福祉推進委員会の活動については、今後も区域の特性を活かした独自の展開を図ることから、種々新たな試みが期待され、活動内容についても、市地域福祉推進委員会から支援し、活発化させていく必要がある。
- ・福祉相談システムは、多様な市民相談内容に対し、的確な情報提供に資することができるよう、内容の充実に向けていく。

施策名	1501	地域の福祉ニーズの把握									
指標名	区地域福祉推進委員会の活動回数（件）										
担当課	地域福祉課	連絡先	251-1175								
1 指標の説明											
地域住民, 社会福祉協議会, 民生委員・児童委員, 社会福祉施設職員, ボランティア, NPO法人等から構成される区地域福祉推進委員会の活動回数											
2 指標の意味			3 算出方法・出典等								
支援を必要とする人への地域福祉サービスの充実度を示す指標			算出方法：全数調査 出典：事業担当課調べ								
4 数値											
	前回数値	最新数値	推移	目標値							
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度					
数値	36	36	増減なし	41	過去3年間の平均値	87.8%					
	全国順位	中長期目標				備考					
		数値	目標年次	達成度	根拠						
数値											
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果							
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：90%以上～100%未満 c：80%以上～90%未満 d：70%以上～80%未満 e：70%未満		当該指標については民間部門の寄与度が比較的高いことから、過去3年間の数値を基に、平均値以上をaとし、10%ごとに基準を設定した。 平成19年度：50件 平成20年度：38件 平成21年度：36件		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>C</td> </tr> </table>				23	-	-	C
		23									
-	-	C									

指標名	福祉相談システムの利用件数（件）				
担当課	地域福祉課	連絡先	251-1175		
1 指標の説明					
本市の構築した福祉事務所職員向けの福祉相談システムへのアクセス数					
2 指標の意味			**3 算出方法・出典等**		
各福祉分野を超えた相談内容に応じた、地域福祉サービスの充実度を示す指標			算出方法：全数調査 出典：事業担当課調べ		
4 数値					

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度
数値	1,957	3,216	1,259件増	2,504	過去最高値	128.4%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						

| **5 評価基準** | | **6 基準説明** | | **7 評価結果** | |
| 最新数値が a：過去最高値以上 b：過去最高値と上中間（最高値と平均値の間）との間 c：上中間地と平均値の間 d：平均値と下中間（平均値と最低値の間）の間 e：下中間以下 | | 当該指標については相談内容に拠る所が多いことから、過去の数値を基に、最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。 最高値：2,504件（平成20年度） 平均値：2,231件 最低値：1,957件（平成21年度） | | | | | | |---|---|----| | | | 23 | | - | - | a | | |